

過去の出題傾向について確認しておこう！

名大入試研究[生物]

▶ 出題一覧表

過去 10 年分の名古屋大学の入学試験(生物)で出題された分野を、次の表にまとめた。

	I	II	III	IV
2016	植物ホルモン, 細胞, 遺伝子	遺伝子, 生殖	行動	個体群・生態系
2015	感覚・行動	生殖と発生・遺伝子	遺伝子	個体群・生態系
2014	進化・血液循環	遺伝子・遺伝・植物の反応	遺伝子	—
2013	DNA・遺伝	感覚・神経	植物ホルモン, 窒素固定	—
2012	呼吸・筋収縮	転写・翻訳 遺伝子	植物ホルモン	—
2011	膜タンパク質・物質の輸送	遺伝子発現の調節	個体群, 遷移 生物多様性	—
2010	生態系 分子系統樹	神経・遺伝子発現の調節	免疫	—
2009	DNA の複製, 転写, 翻訳	膜タンパク質・物質の輸送	植物ホルモン 光周性	—
2008	光合成, 光周性 光発芽種子	いろいろな遺伝	酵素, 血液の凝集反応, 反射	—
2007	発生, 遺伝子発現の調節	重複受精	血液循環, 排出	遺伝(三遺伝子雑種)

▶ 分析と対策

分析

- 1 大問内に複数の分野から出題されることが多く、総合力が試される。
- 遺伝では計算問題が多い。
- 植物関連の問題が頻出である。

対策

まずは教科書レベルの知識は確実に身につけ、各分野を関連づけて総合力を強化しよう。また、論述問題は 50 字～100 字のものが多いため、過去問などで基本的知識や実験結果を、ポイントを押さえて論述する練習を重ねておこう。

名大は、論述だけでなく計算問題も時間がかかるものが多く出題されるので、過去問や模試などを活用して、慣れておこう。